



© Maarten Vanden Abeele

ベルギー発、最高にスキャンダラスなダンス
ピーピング・トム「ル・ス・ソル/土の下」

Peeping Tom Le Sous Sol

2009.2.18 wed 19:00 **AI-HALL**

企画制作：アイホール
世田谷パブリックシアター
主催：伊丹市・(財)伊丹市文化振興財団
協賛：エールフランス航空
キリンホールディングス株式会社
株式会社 資生堂
ダイキン工業株式会社
リュネット アン・バレンタイン
後援：ベルギー王国大使館
ベルギーフランドル交流センター FLANDERS CENTER

Creation and Interpretation : Gabriela Carrizo, Franck Chartier, Samuel Lefevre, Maria Otal, Eurudiké De Beul (Mezzo-Soprano)



M [社]企業メセナ協議会認定

平成20年度文化庁芸術拠点形成事業

Creative Consultant : Simon Versnel

Sound Composition : Glenn Vervliet

Technical Director : Frederik Liekens with the support of Yves Leirs

Co-production : KVS Brussels, Charleroi/Danses - Charleroi, Théâtre de la Ville - Paris, Trafó - Budapest

With support of The Flemish Community, Scène Nationale de Petit-Quevilly - Mont-Saint-Aignan

Distribution and Promotion : Frans Brood Productions, Sarah De Ganck

Management : Sandra Fol

Production : Laura Fierens

ピーピング・トム Peeping Tom
Le Sous Sol / 土の下

□日程 2009年 2月18日(水) 19:00

※開場は開演の30分前。

□会場 アイホール (伊丹市立演劇ホール)

◎料金 (全席指定・税込)

一般 4,500円 学生&ユース(25歳以下) 3,000円

※学生&ユース券は枚数限定。

※学生&ユース券のお客様は、当日受付にて学生証か年齢の分かる書類をご提示ください。

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※伊丹市在住または在学の中学・高校生は、「AI-HALL STUDENT INVITATION」の扱いがあります。ご希望の方は、アイホールまでお問い合わせください。

◎チケット発売日 11月30日(日)10:00~

◎チケット取扱 ※前売券完売の際、当日券の発売はいたしません。

●アイホール tel.072-782-2000

●電子チケットぴあ tel.0570-02-9999 [Pコード 391-556]

http://t.pia.jp/

●JCDNダンスリザーブ(オンラインチケット予約) http://dance.jcdn.org/

◎お問い合わせ

アイホール (伊丹市立演劇ホール) tel.072-782-2000 ※火曜日休館

http://www.aihall.com

aihall@juno.ocn.ne.jp



アイホール (伊丹市立演劇ホール)

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1 tel. 072-782-2000

JR伊丹駅前、阪急伊丹駅より東へ徒歩7分



□ツアー情報

2月 5日(木)~7日(土) 世田谷パブリックシアター (東京)

2月11日(水)16:00 多治見市文化会館 (岐阜)

2月15日(日)16:00 まつもと市民芸術館・実験劇場 (長野)



© Maarten Vanden Abeele

Peeping Tom Le Sous Sol

ダンスを超えた危険な誘惑

ベルギー屈指のバレエ団 Les Ballets C. de la B.で、アラン・プラテル演出『悲しみの共犯者』『パッハと憂き世』『ウォルフ』などの中心メンバーとして活躍してきた、ガブリエラ・カリーソとフランク・シャルティエによる新ユニット ピーピング・トム。キャンピングカーを使ったダンス・シアター・プロジェクト『Caravana』(2000)でデビューを飾って以来、ダンス、演劇、音楽など、さまざまなアートスタイルを吸収し、彼らにしか成し得ない独創的な舞台を生み出してきた。

ものごとの光と闇、生と死、人間の本质を鋭くとらえる覗き屋 (= Peeping Tom) の危険な視線から、あなたは逃れられない。

「Le Sous Sol」それは、死後の世界。天国とも地獄ともつかない、忘れ去られた地下室のような、土にまみれた薄暗いサロンに次々と集まる人々。突然の事故死や、長い人生の果てに訪れた病床の死。死の苦しみから解放された狂気のユートピアで、彼らは自らの死の物語を回想する。淡々と過ぎて行く、永遠の死を生きる人々の日常は残酷な微笑みとユーモアにあふれ、そしてどうしようもなく孤独で切ない。

今日も彼らは待っている。また誰か、愛する人が、地下室の扉を叩く日を。

おびただしい土砂に埋もれた舞台、老婆、ダンサー、オペラ歌手。そして、本作に息吹を吹き込む地域の高齢者によるスペシャルキャスト。ジャンルの異なるアーティストが創りあげる、禁断のストーリーと度肝を抜くパフォーマンス。ダンスを超越した最高の話題作が上陸する。

ガブリエラ・カリーソ

アルゼンチン・コルドバ生まれ。アルゼンチンの舞踊大学を経て19歳で渡欧。パリとブリュッセルを活動の拠点としながら、カロリーヌ・マルカデ、アラン・ファソンらの振付家や、ニードカンパニーの作品に出演。95年よりLes Ballets C. de la B.に参加し、アラン・プラテル演出の『悲しみの共犯者』『パッハと憂き世』の主要メンバーとして活躍、『ウォルフ』では振付を担当した。2000年、フランク・シャルティエとピーピング・トムを立ち上げる。

フランク・シャルティエ

フランス・ロアンヌ生まれ。ロゼラ・ハイタワー国際舞踊学校を経て、モーリス・ベジャールの20世紀バレエ団、ベジャール・バレエ・ローザンヌでダンスを学ぶ。その後、アンジュラン・ブレルジョカージュ、ローザス、ニードカンパニーの作品に出演。ベルギーのカンパニーとの交流が深まる中で、アラン・プラテルの『パッハと憂き世』に参加したことが彼の舞踊人生を決定づける。2000年、ガブリエラ・カリーソとピーピング・トムを立ち上げる。